**民主党への緊急提言**

**－総選挙をたたかうために－**

**一般社団法人生活経済政策研究所**

**民主党再建プロジェクト**

**民主党への緊急提言**

**－総選挙をたたかうために－**

**はじめに**

安倍政権の信を問う総選挙が目前に迫っている。しかし、今回の総選挙ほど解散の大義がない総選挙はめずらしい。国民の多くが疑問視し、景気後退局面に直面し、経済界までが解散に反対する中で、それでも解散を強行したのはなぜなのか。そのことを私たちはしっかりと見据えなければならない。「安倍晋三の安倍晋三による安倍晋三のための選挙」としないためには、まさに私たち有権者の良識が問われる選挙である。

　しかし、この選挙は、私たちにとっても民主党にとっても大きなチャンスでもある。私たち有権者にとってはより早く民主主義を取り戻す機会として。民主党にとっては、喪われた国民の信頼とめざしていた日本の未来を取り戻すための絶好の機会として。

残念ながら、民主党はまだ順風の中にはいない。しかし、今の民主党は、少し前までの、政権運営の失敗に対する国民の厳しい批判にうなだれていた民主党ではない。新たな体制の下で、逆風にあっても前を向き、胸を張って前進する準備はできている。

逆風においても帆船は前進することができる。ましてや、今、かつての民主党への批判の嵐は収まりつつある。批判から期待へ。不信から信頼へ。今こそピンチをチャンスに変えなければならない。この総選挙において、未来に希望があることを、真摯に、明確に国民に伝えよう。

　それは私たちの役割でもある。私たちは、民主党の応援団として、民主党とその候補者のみなさんが、この短い選挙期間中において国民に伝えるべきメッセージを、山口二郎法政大学教授、大沢真理東京大学教授を中心とする民主党再建プロジェクトによって緊急に取りまとめた。

　これは、これまでの提言と違って、項目別のメッセージ集である。私たちから民主党へのメーセージではなく、民主党から国民のみなさんへのメッセージとして、街頭演説や候補者のチラシとして活用されることを想定している。

　この緊急提言が、民主党と私たちの道を切り開くための一助となることを、心から願う。

　　2014年11月２８日

一般社団法人生活経済政策研究所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会　長　加　藤　良　輔